

地域に親しまれる防風林をめざして



空知森林管理署

【Ⅰ 防風林のはたらき】

空知森林管理署管内の石狩平野部には、防風保安林に指定された約300haの「防風林」があります。

防風林は、強風から農作物、道路、鉄道、住環境などを守る林で、強風に付随する吹雪・飛砂などを防ぐ働きがあります。

風を弱める効果は、風上側で林の高さの5倍、風下側で20倍の範囲で減風効果があると言われています。

また、樹木や野草、鳥獣・昆虫などの生息空間となっているなど人工工作物では果たせない多面的な機能を有しています。

【Ⅱ 防風林の現状と課題】

防風林は、戦前から戦後にかけて造成され、林齢が60年～80年のものが半数となり、樹木の成長とともに自然淘汰が進み、枝枯れや枯死した樹木が増加してきています。このため、台風の接近や強風により隣接する農

地、道路、住宅への倒木や、落枝などの発生件数が増加してきている状況になっていきます。これらに対応するため、防風林を計画的に整備していくことや、防風林の役割などについて地域の理解を得ることが課題となっています。

【Ⅲ 課題解決に向けて】

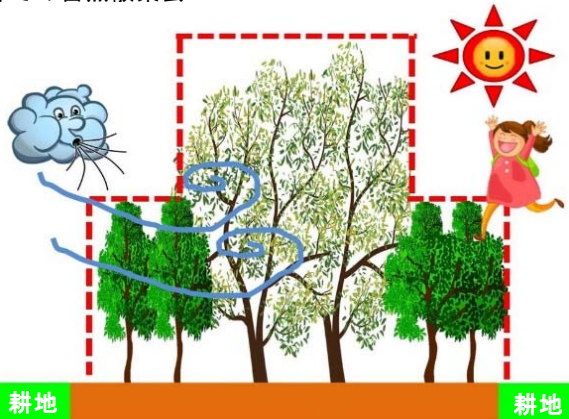
当署では、防風林の改良として「凸型林型化による防風林の機能向上」を目指した取組を進めているところですが、



防風林での自然散策会

具体的には、倒木、落枝などによる隣接地への被害や、樹木の作る日陰に

よる農作物への影響、農業機械等の接触を抑制することを目的に、防風林を両端と中央の3つに分けて、防風機能を維持しながら段階的に伐採し、両端に成長しても高くない低木類を、中央に高木類を植栽し「凸型林型」に育てていくという取組です。



凸型林型(完成図)

今後、この取組を計画的に進めていきます。また、防風林が所在する自治体と連携して取り組んできた、地元説明会や、防風林内を会場とし

た植樹祭や森林教室などは、地域の皆さんに防風林の役割を伝える大切な機会と位置づけ、今後も継続して進めていきます。



防風林での植樹祭

【Ⅳ 親しまれる防風林へ】

これらの取組を継続・展開させることにより、防風林が発揮している大切なはたらきを、広く地域の皆さんにご理解していただくとともに、身近な国有林である防風林に親しんでいただき、地域の皆さんと手を取りあつて、防風林を地域の財産として、将来に引き継いでいきたいと考えています。